

医療的ケア児のインクルーシブな支援に関する講演会

「医療的ケア児」とは、医療の進歩を背景として、新生児集中治療室（NICU）等で命を救われたが、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的なケアが、日常的に必要な児童のことで、現在、全国に約2万人いると推計されています。

平成28年の児童福祉法の改正に続き、令和3年には「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（医療的ケア児支援法）が制定され、9月に施行されました。医療的ケア児とその家族が、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるようにするために、保育及び教育の拡充に係る施策、その他必要な施策並びに「医療的ケア児支援センター」の指定等が定められ、国として喫緊の課題となっています。

今回の講演会では、日本における医療的ケア児のインクルーシブな支援の現状と課題についてお話しいただくとともに、医療的ケア児のインクルーシブな保育に積極的に取り組んでいる「ひらたえがお保育園」の実践について紹介します。

さらには、ドイツ・ベルリン市で「医療的ケア児」の保育所等でのインクルーシブな受け入れを進めている Lebenshilfe の Musa Al Munaizel 所長から、インクルーシブ教育、平和教育、未来のための教育について学ばせていただきます。

◆日時： 2023年10月18日（水）
10：00～12：30

◆場所： ピュアリティまきび
岡山市北区下石井2-6-41
TEL (086) 232-0511 FAX (086) 224-2995

◆参加費： 無料 ※この講演会は公益財団法人橋本財団の
2022年度福祉研究助成を得ています

◆定員： 100人

◆プログラム：

- ①日本における医療的ケア児のインクルーシブな支援の現状と課題
森本寛訓（川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科准教授）
- ②ドイツにおける医療的ケア児のインクルーシブな支援の現状と課題
Musa Al Munaizel（ベルリン市 Lebenshilfe iKita gmbH所長）
- ③ひらたえがお保育園における医療的ケア児のインクルーシブな支援の実践
河口郁絵（ひらたえがお保育園園長）
- ④意見交換

主催：旭川荘総合研究所 後援（申請中）：岡山県、岡山市、山陽新聞社会事業団

医療的ケア児のインクルーシブな支援に関する講演会

参加申込書

ふりがな	
氏名	
連絡先	
メールアドレス	
所属	家族・学校関係・医療関係・支援者関係・その他

- ※必要事項をご記入のうえ、ファックスもしくはメールでお申し込みください。
- ※メールの場合、上記の必要事項を本文中にご記載ください。
- ※複数でのご参加を希望される場合も、お手数ですが一人ずつ申し込みください。
- ※電話番号、メールアドレス等の個人情報は、本講演会参加者名簿の作成以外の目的で使用することはありません。
- ※定員は100人となっております。定員を超える場合、申し込みをお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

申 込 先

F A X : 086-275-4826 (旭川荘敬愛館)

E-Mail : keiaikan@asahigawasou.or.jp

締切り : 10月10日 (火)